



昭道報

Shodoho --- Newsletter of Shodokan ---

第10号

平成15年8月15日発行

<発行所>

関西合気道競技連盟広報部

<発行責任者>

中村芳勝(広報部長)

<編集>

昭道報編集係

安部隆宏指導員のご逝去

去る二〇〇三年四月、安部隆宏指導員がトルコにて交通事故に遭い、ご逝去されました。四月二十八日に通夜式、翌日に告別式が執り行われ、道場関係者を含め多くの方が参列されました。

心からご冥福をお祈りいたしませうとともに、皆様からお寄せいただいた追悼のお言葉をご紹介いたします。

安部隆宏指導員を偲ぶ

昭道館館長 富木昌子

それはゴールデンウィーク直前の事でした。「昭道館の安部隆宏指導員が旅先のトルコで亡くなりました。」という報せを受け、あまりに突然のことで、俄かには信じられず、「本当にあの安部くんですか？」と、私は思わず何度も聞き返してしまいました。

これから家業を継ぐという責任と希望、大きな夢をいっばい抱えて旅に出たまま、帰らぬ人となってしまう安部隆宏さん。そのあまりに早すぎる旅立ちに、ご両親のお気持ちを思うと申し上げるべき言葉がありません。

安部さんと初めて昭道館でお会いしたとき、しなやかで切れのある合気道をする人だなというのが第一印象でした。そして昨年、私が館長就任後初めて大阪へ伺った折、他

の先生方と共に迎えて下さり、いろいろとお話しする機会がありました。今の若者としては、むしろ控えめで礼儀正しく、優しいお人柄を感じました。そして穏やかな中にも芯の強さを窺わせる好青年で、きっとこれからも昭道館を支えてくれるひとりに違いないと期待していたのです。

今、昭道館は大切な道友を失い、悲しみにくれています。しかし安部さんが専任指導員として昭道館に残した足跡は、さまざまな合気道競技大会で残した華麗なる記録と共に、いつまでも皆の心に刻まれ、消えることはありません。

安部隆宏指導員の生前のご活躍を偲び、心からご冥福をお祈り致します。 合掌

安部隆宏指導員を偲ぶ

昭道館理事長 内山雅晴

安部隆宏指導員がトルコにおいて交通事故にて亡くなられ、心よりお悔やみ致します。未だ二十七歳の若さで将来の可能性を考えると、ご両親のご心中をお察しするに言葉もございません。成山師範と競技合気道を支える同士の方々の大きな損害でございます。残念なことでございます。

安部君に昭道館で指導を受けた人達が大きくなり、大変上達しております。天理大学の後輩の方々も各大会において優秀な成績を収められております。今後、天国より応援をお願い致します。 合掌

弔辞

日本合気道協会昭道館

師範 成山哲郎

安部君、何故親子ほど年上の私が、君のような将来のある若者に弔辞を贈らなければならぬのか。

ほんの一月ほど前まで、いつもの笑顔を浮かべながら道場に来てくれていた君の、あまりに突然な悲報を、どうして受け入れることができようか。今ここに立って、この弔辞を捧げながらも、未だに信じかねる気持ちであります。



思い起こせば平成七年四月、天理大学体育総部合気道部に入部されて以来、君は常に合気道の研鑽に努め、また後進の指導に力を尽くしてくれました。

平成十年の第十八回関西学生合気道競技大会で、個人戦に優勝されたことを皮切りに、数々の大会で好成績を残されました。特に平成十三年十月に開催された第四回国際合気道競技大会では、団体戦や演武競技などで三冠に輝き、君の合気道が花開いたと思う瞬間でした。手足の長さをうまく使った、大きな技が君の魅力でした。心技ともに、合気道家として大きく成長する姿が、本当に嬉しかった。

安部君は選手としてだけでなく、指導者としても大変に優れた人材でありました。天理大学合気道部では、主将として個性あふれる後輩たちを導き、卒業した平成十二年の四月から、佐藤指導員の後任として、昭道館本部道場の専任指導員を引き受けていただきました。平成十四年三月に専任指導員を酒井君に譲るまで、安部君は関西の諸大学をはじめ、各支部から少年部や中学校の指導など、昭道館合気道の普及のために、本当に全力を傾けてくれました。

君は私と違って、常に笑みを絶やさず、誰に対しても穏やかに接して、決して語気を荒げるようなことはありませんでした。老若男女を問わず、また上からも下からも好かれる性格で、みんなの人気者でした。指導員になっても決して奢らない、謙虚な心の持ち主でもありました。

平成十三年八月に、二人でスペインに指導に行った時も、君は相変わらず人気者で、「安部先生は、どんなハードスケジュールの時でも、いつもニコニコしていて本当にいい男だ。スペイン語はちっとも通じなかつたけれど、彼の笑顔と誠実な指導があれば十分に彼の良さは通じる。」そんな風に評されていました。本当に君は、どこへいっても羨ましいほど人気があつて、それは指導員として、何よりも素晴らしい資質なのだ、君は教えてくれました。

君が専任で道場を支えてくれた二年間、私は自分の与えることの出来る限りを君に注いだつもりです。指導員になりたての頃は、体格差もあつたせいか、呼吸の合わないこと

もありましたが、気がつけば、私にとつて技を安心してかけられる、何も言わなくても気持ちの通じる、数少ないアシスタントとなつてくれました。

安部君。君は私にとつて、血肉を分け与えた、かけがえのない愛弟子です。これからも大いに活躍してもらいたかった。このように突然君を失うことは、私にとつて片腕をものがれるような思いであり、身を切られるような思いであります。しかし何よりも悔いが残るのは、君を今回の旅にいかせてしまったことです。何故、君の旅行をとめることが出来なかったか。

何故、もつと強く君を引き止めることが出来なかったか。まさに痛恨の極みです。この思いは、私だけのものではないでしょう。君が専任から離れ、家業を継ぐことを決めたのは、ご家族の君にかける思いに、君が応えようとしたかったからではなかったか。そんな君の決断を、ご家族はどれほど喜ばれただろうか。私の、この悔しき、無念さを思えば、君のご家族の胸中は、察するに余りありません。安部君。突然の悲報に、君を知る多くの道友が、その急逝を惜しみ、在りし日の君との想い出に、

安部指導員を偲ぶ

寺西晴高

私たちの仲間である安部隆宏君のご逝去の報せは誠に寂しく、今でも信じられない想いで一杯です。数々の大会で優勝してきた安部君の姿に憧れた人も多かったのでしょう。先日の昭道杯でも安部君の得意技だった下段当てや隅落しを皆が試していました。ですが、安部君ほどの切れ味は無かった。もつと永く指導してほしかった、一緒に練習したかったという思いが今更ながら募ります。素晴らしい成績にも関わらず、おごらない、謙虚な人柄が安部君のファンを更に増やしました。

昭和町の桃が池でのお花見でも、話題の中心で「来年は安部も一緒にやな」と桜の花を見ながら話していました。安部君、天国に行かれ



ても我々の仲間です。今はただ、在りし日の姿を偲び、ご冥福をお祈り申し上げるばかりです。

合掌。

安部君を偲ぶ

山形雅章

訃報を聞いた時信じられなかった。同時に旅の計画を話してくれたあの日のことを思い出した。あの日のあいつはいつもより饒舌だった。たぶん、酒がはいっていたせいもあったろう。楽しそうに今回の旅の話をしてくれたものだ。エジプトに飛び、ヨルダンやトルコの遺跡めぐり、ヨーロッパに入る。そして、イギリスで行われる国際大会に参加すること。遺跡の話になると目が輝いていた。ピラミッド、カッパドキア、。かなり前から抱いていた夢だったのだろう。「なんて幸せなやつなんだろう。」と思つた。大学を出て好きな合気道に専念。そして、半年も海外へひとり旅ができるなんて。

あいつはきつと幸せだったんだ。不慮の事故に遭い、旅の途中で亡くなったけれど幸せの途中だったにちがいない。

「旅にでて 夢は枯れ野を かけめぐる」 (芭蕉)

あいつは今ごろ何処を旅しているのだろうか。

安部指導員を偲ぶ

中川世一

えっ！悲報を受けた時の第一声でした。異国の地で亡くなったらしい。確認の為に父さんがトルコに行かれたらしい。それしか分らないの事でした。それしか分らないのならば、誤報である事を祈ろう。祈る事しか出来ない。無力な自分を痛感しました。私事ですが、私の娘もタイでバスに乗っていた時に前の人が亡くなるという事故に合っており、とても他人事とは思えません。葬儀の日程を聞いた時は、現実を受け止めるしかない。しかし、ご家族の事を思うと...

安部君とは、天理大学在学中からの付き合いで、色々な活躍を目の当たりに見て来た。昭道館の内弟子時代も、家業を継ぐと昭道館を卒業してからも、茨木高校の授業を手伝ってもらったりと、思い出は尽きません。与謝野晶子の詩に「劫初より造り営む殿堂に我も黄金の釘を一つ打つ」というのがあります。安部君は、我々の合気道に間違いない黄金の釘を打って去つたと思えます。冥福を祈るばかりです。

安部指導員を偲ぶ

日本合気道協会

師範 志々田文明

ブリスベンの国際大会のクルーズ観光で、私達夫婦の真向かいに座ったのが安部隆宏君でした。この時は大学生。将来は家業を継ぐと語っていましたが、明るく、ほのぼのとした人柄に、「好青年だね」と語り合つたものでした。二年後の舞洲国際大会では昭道館本部の指導員。「(あの時會つた)あなたが昭道館の安部さん？」と驚く妻。武道家らしからぬ普通の人が天下の昭道館の指導員ですからね。昭道館の新しい魅力の源泉であり、将来を囑望された安部君。その夭折を悼み心から哀悼の意を表します。

安部隆宏くんを偲んで

中村芳勝

突然の訃報に接し、今でもとても信じられない思いです。安部くんといえは第四回国際合気道競技大会のポスターにもなっている、「つくり」の稽古を成山師範のご指導のもとに熱心にされていたことを思い出します。「つくり」から「掛け」へ初めはぎこちなかったのが、何度も繰返し稽古され、昭道館の稽古体系の素晴らしさを身をもって表現されました。また、審判部の一員としても、審判講習会、昭道杯、各大会にも

安部隆宏君を偲んで

天理大学合気道部監督 安居 隆

この追悼文を何度も書こうとしましたが、安部君が亡くなったとは通夜葬儀にも行ったのに信じられなくて認めたくないという思いから、なかなか書けませんでした。

ただ、死とは終わりではなく本人の意識は生き続けると信じています。若くして亡くなるのは周囲の者に悲しみを与え、特に家族の方にとっては絶え難いものではないでしょう。

しかし、本人は幸福であると思えます。まだまだ合気道もうまくなれたでしょうし、家業も覚え始めたばかりで、この世的に考えれば彼の遣り残した仕事は多いで

積極的に参加され活躍していただきました。専任指導員の経験と現役競技者としての立場から、今後の審判部の発展に大いに貢献していただけるものと期待していただけに貴重な人材を亡くし無念の思いで一杯です。

最後に昭道報復活号（第五号（二〇〇〇年十二月発行））での彼のインタビューを記します。「自己PRをどうぞ。」

○よく落ち着いていると言われますが、実はパニックになっていることがあります。

○楽しい席での飲み会は何杯でもいただけました。

すが、霊的に考えれば今生の彼の魂としての仕事は完全に果たしたということでは。

安部君は大変よくやってくれました。天理大学合気道現役時代、十人くらいいた同級生が退部し、男女一人ずつになった時、彼に言いました。

「よう残ってくれたなあ。お前を必ずチャンピオンにするぞ。」

横にいた部長先生も「監督が言ったからには間違いないで。よかつたなあ。」と喜んでくれました。

そして一年後、彼は主将としてクラブを引っ張り、四回生の時には関西大会で見事個人戦チャンピオンに輝きました。

そして卒部後、師範から佐藤竜一君の後任に安部君を考えていると話があった時、うまい方であるが特にずば抜けてというわけ

○大の甘党（和菓子類は除く）これを読む度に、彼の温かな人柄を思い出します。 合掌

故安部隆宏指導員

との思い出

昭道館武蔵野 佐藤竜一

今から五年ほど前、私が昭道館本部の指導員をしていた時のことです。大学を卒業した安部君は、更なる技術の研鑽と社会人としての楽しい合気道を求めて、本部の稽古に通い始めました。稽古

中の彼の表情は明るく、まさに合気道を楽しんでいるといった感じで、社会人としての合気道のあり方を彼なりに見つけたようでした。

安部君に本部指導員をお願いしたときですが、いつもはノーと言わない安部君が「僕には荷が重過ぎます。」とかなり困惑した様子で、答えを先送りにしたことを思い出します。楽しさ重視の合気道から本格的な合気道へと変わるわけですから無理もありませんが、最終的に安部君がイエスと言ってくれたお蔭で安部本部指導員が誕生し、私も昭道館武蔵野を立ち上げることができたわけでした。

第四回国際合気道競技大会では、本部指導員として身につけた技術と精神力で、乱取競技団体戦と自由演武で二冠を取るまでに成長した安部君。今年の昭道館本部春季研修合宿で歴代の指導員が並んで演武したことが、今となっては大切な思い出となりました。

査証を取りに東京に来たとき、わざわざ武蔵野の稽古に参加して色々手伝ってくれたこと、稽古後の安部先生歓送会での満面の笑み、一生忘れられなくなりました。それは今回の安部先生逝去の知らせがあまりにも突然で、あまりにも悲しく、あのときの笑顔とギャップがあまりにも大きすぎるからです。

こんな形で安部先生との思い出を書くのは本当に辛いことですが、これらの思い出は、私の中で今後も決して消えることはないでしょう。

安部先生、どうぞ安らかに眠りなさい。

安部指導員を偲ぶ

藤本和義

安部先生とは成山師範の下で共に昭道館で指導や多くの行事に携わり苦楽を共にしました。安部先生の指導は技一つ一つが大きく分り易いもので、時に師範にツッコまれて固まってしまいう場面もありましたがとても丁寧なものでした。

第四回国際大会では安部先生が取りを、私が受けを担当し演武の自由の部に出場しました。トーナメント形式で行われた試合では、多少のミスはあったものの安部先生の手足のリーチを活かした大きくスピードのある技で勝ち抜いていき、決勝では今までにないぐらいにお互いの息の合った演武で見事に優勝することが出来ました。安部先生との演武は最初で最後になってしまいました。私が、私の受け人生の中でも最高峰の出来でした。そんな安部先生はお酒の席では楽しく、学生達と一緒にいつつぶれていく光景がもう見られないのは寂しいかぎりです。今回の事で私は、命ある今を懸命に生きる、という事を学びました。我が友に心からの感謝と深い哀悼の意を捧げます。



安部指導員を偲ぶ

新北野中学校合気道部顧問
栢木かおる

安部先生にはこの春までの三年間、新北野中学校の専任指導員としてお世話になりました。

凛とした号令、大きな素早い動きが印象的で、熱心に教えていただきました。

口数はそんなに多くない先生でしたが、生徒達は色々特徴をとらえ、号令が1、2、3、4、5、6、7（ヘチ）、8・・・と声がうらがえるのが面白いなどといっていました。トレーニングメニューも豊富で立てふせだけでも何通りもあり、「そんな無理・・・」というようなトレーニングを軽々とこなし、生徒達をおどろかせていました。

いつも微笑み、ほとんど怒ることのない優しい安部先生に生徒達は甘えて失礼な練習状態の時もあったようですが、熱心な指導と大きな動きの技で生徒達は尊敬し、慕っていたようです。

昨年十一月に大阪で行われた国際合気道競技大会では、選手としての安部先生をみんなで応援しました。激しい乱取競技に、ふだんおだやかな安部先生の篤い豹変ぶりには、生徒達も「すこい」と目を見張っていました。また、一度、練習後に生徒達にせがまれてバク転などを見せていただいたこともあったようで、それも尊敬のまなざしでした。

「エジプトに行きます。半年程旅をしてきます」と言ってお出発した

安部先生に、おみやげ話をたくさん期待していた生徒達でした。突然の訃報に大きなショックを受け、言葉も出ないほどでした。

告別式には、卒業生も含めて大勢参列させていただきましたが、一安部先生に教わった合気道をこれからも真剣に練習しよう」と思ったようです。

三年間のご指導に心から感謝します。

安部指導員を偲ぶ

上月 修

ご葬儀の祭壇で関西学生大会の優勝盾を拝見し、祝勝会の夜、「今ホツとしています」と安堵の表情をしていた安部君の笑顔を思い出しました。安部君が情熱を注いだ大会はますます盛況にありまします。安心して安らかに眠り下さい。合掌

安部指導員を偲ぶ

昭道館武蔵野 大森清恵

「安部先生、今何を考えているのですか？」そんな風に訊いてみたくなるのが何度かありました。暑い夏の日でも、少々酔っ払っていても、骨折していても、安部先生はいつも変わらず穏やかに控えて、なのにとても芯が強そうで、そしてどこか茫洋とした雰囲気を持っていたように思いました。電話の向こうの、安部先生の「はい、昭道館です」という声は、どんなに忙しい時でもトゲがな



くて、自然な明るさと不思議な落ち着きがあつて、お陰で私の緊張は随分と和らいだものです。

誰にでも悩みや困難を背負う時があります。でも安部先生がそれを捨てたり、誰かに任せたりしているのを私は見たことがありません。

「今何を考えているのですか？」そんな風に訊きたくなるのは安部先生が、悩みや怒り、辛さや苦しみのような負の感情を、決して表に出さずに接してくれていたからだだったので、安部先生の気づかせない気遣いが、今になって心に沁みます。

伝えられなかつた敬意と感謝の気持ちも、これからずっと大切にします。ありがとうございました。

安部指導員を偲ぶ

酒井進之介

安部先生はとでも頼りになる昭道館の先輩であり、お互い本気になって稽古し、汗をかいたかけ

がえない競争相手でした。安部先生の技は大きく、強く、そしてその受身は華麗であり、どんな技に対しても受身をとることができました。そしてその人柄は穏やかであり、笑顔を絶やすことはありませんでした。そんな自分には無いものをたくさん持っている安部先生に対して羨望を感じることがしばしばでした。

記憶とは時間が経つてゆくことで薄れてゆくものなのかも知れません。ただ安部先生にかけていただいた技の感触、そしてお互いに技をかけ合つて感じたその時の気持ちのやり取りが今でも鮮明に残っており、それが自分にとって今でも生き続けている安部先生そのものであります。安部先生と一緒にこなした稽古をこれからも続け、そしてその時より一歩も二歩も上を目指していくことで安部先生から受けた恩に報いたいと考えます。

安部先生、本当に有難うございました。

伊達由美子

夢をみました。夕暮れ時、安部さんが歩いていました。少し離れて後ろから「安部ちゃんの背中つてやっぱ広いなあ」と変なところにも妙に感心しながら私が歩いていました。いつも夢なんか見てもすぐに忘れるのに、この時の夢だけは服装や会話の内容までしっかりと覚えています。でも何故か安部さんはずっと後ろ姿のま

までした。休みがちの道場、「稽古に行かないといけないなあ」と、夢の内容については、特に深く考えることもなくただ単にそう思った程度でした。しかしその数時間後、突然の訃報を知らせる連絡が入り、本当にしばらく信じられませんでした。日本から遠く離れたトルコでの交通事故、ひとり旅だったという事もあり、どれ程心細かつたらうと思えます。告別式に参列して、まだ何か夢をみているようでしたが、同時に、悲しいけれど現実であるということを受け入れざるを得ませんでした。

安部さんの一番の印象といえば、やはり乱取試合での姿です。いつもは大人しいけれど、試合になると輝いていました。私が大好きだったのは、一瞬のすきを逃さず絶対のタイミングで掛ける隅落とし、そして独特の構えからの、長いリーチを生かした目が覚めるような突き、試合の度に、今日どんな美しい技を見せてくれるのか、気分爽快にさせてくれる突きを何本見せてくれるのか、といつもとても楽しみにしていた事を思い出します。そんな姿も、もう二度と見る事ができないのかと思うと本当に残念でなりません。

店を継ぐ事を決意し、人生いざこれからという時に、夢や希望やさまざまな思いを残したまま逝かざるを得なかつた安部さんの心情を思うと本当に胸が痛みます。残されたご家族の悲しみも、とても計り知ることにはできません。ただ、私たちに出来ることといえば、安部さんの分まで頑張る

安部先生との思い出、海外での大会や国際大会等でもに出場した事、飲み会ではいつもひたすらビールを飲んで飲んで、飲んで。そしていつも笑顔。指導員にならなくても笑顔は変わらずに、楽しく分かりやすい指導をなさっていました。そんな安部先生が突然他界され、本当に悔しい限りです。言葉が見つからないのですが、向こうの世界でも楽しく合気道をなさっていることを祈っています。

成山哲也

安部さんの昭道館での印象は、乱取では短刀を独特の構えからスピードのある突きを見せてくれました。技では長い足と身体のパネを活かした隅落としが魅力的でした。指導者としても今後幅広く、大いに活躍が期待された安部さんを失ったことは誠に残念であります。意志を受けつぎ、合気道の発展に努力していききたい。

三木浩

旅発つ前の壮行会でいつも以上にご機嫌でとつても嬉しそうに飲んで笑っていた姿を思い出します。いろいろお世話になりました。ありがとうございました。

松下悦子

安部先生の突然のご逝去に、未だに信じられない思いです。先生のことを思い返してみても、屈託のない笑顔しか思い出せません。

まだ白帯だった頃の私にも親切にしてください。本部道場の指導員になられてからも、多忙な中、私の悩みや愚痴を聞いてくださったりと本当に優しい先生でした。その優しさゆえに、悩むことも多かったです。本部道場の指導員として貫禄が出てきた頃にこんなことになるのは悔しかったことでしょう。しかし安部先生の短い一生の中で残された「財産」は、私が一生かかっても残せるかどうかからならぬ程貴重なものです。

昭道館は成山師範を始めとして、多くの門下生が安部先生の残された「財産」を発展させていくことと思います。どうか安らかにお眠り下さい。

石倉大

とある席で話すようになって以来、安部先輩には本当によくしていただいた。本部での練習後や向日町支部での指導後も練習を見ていただいたのをよく覚えてる。そしてその性格においては大変温厚で、笑顔の絶えない人であった。私は四年間一度としてあなたの方が本気で怒ったのを見たことがない。誰にでも優しく笑顔で接し、面倒見もよい人で、今でもなお私が尊敬する人物の一人である。以上、安部先輩への感謝と哀悼の意をもって、この文章を捧げたいと思う。

香川太一

茨高の授業を手伝ってくれた

安部君は、その投げられっぷりの良さと生徒達に大人気でした。教科の忘年会では、酒豪揃いの体育教師に、グラスを片手に挑んでいった姿は忘れません。いつも一生懸命な安部君、有難う。

赤木瑞枝

安部先生の移動力の鋭さ、速さ、大きさは終始私のあこがれであり、目標でした。安部先生に少しでも近づけるようにこれから頑張りたいと思います。安部先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

山岸広幸

僕の安部先生への一番の思い出は、朝練に行く道中で会った彼のことです。たまに同じ電車になると、遠方から来る彼はいつも寝ていました。でも、僕が側に行くとき、目を覚まして、眠そうなのに必ず声をかけてくれた。それが、いつも人のことを気遣う安部先生の優しい人柄を表していて、印象に残っています。

デイビッド・グレブス

安部さん、思い出しませんか？一緒に行った海や山の事。そして花火をしたことなんかも。安部さんはどんな時でも、いつでも笑顔でした。その笑顔は道場のみんなも忘れないはずですよ。

佐藤勇一

私の質問にいつも笑顔で親切に技を教えてくださいました。未だ信じがたく道場でまた会えそうな気がしてなりません。あのトルコの真青な空と白い大地で客死した冒険家に「冥福を心よりお祈り致します」。

山本芳仁

私が合気道部に入部したのは、安部先輩の「杖取り」に憧れたからです。入部してから今日まで、人一倍多くのご迷惑をおかけしてきました。技をなかなか覚えられない私に、何度も丁寧に指導してください。道に迷ってしまつた私を、心配してずっと捜していただいたりもしました。先輩は私が困ったとき、必ず手をさしのべてくれました。その時の優しい笑顔が、今でも私の脳裏にやきついていきます。そんな身近にいる先輩がもういないなんて残念で残念でならないです。

これから私が合気道を続けていく上で、先輩の合気道に対する想いの、ほんの一部でも引き継いでいければと思っています。

先輩、技だけでなく「心」を教えてください。先輩のご冥福をお祈りいたします。

河村未来

私が合気道に打ち込み、昭道館に毎日のように通った大学時代、本部で指導員をされていたのが安部先生でした。当日黒帯になり

たての私を受けて使った下さり、毎日道場に行くのが楽しみでした。技を通して指導を受けた思い出が残っています。とても心やさしい技だったと思います。

昭道館合宿ではお酒をたくさん飲み過ぎ、次の日の稽古でフラフラだった事があった程お酒が大好きで、勧められるといつも笑顔で杯を重ねていました。

本部道場で、成山師範指導のもと、「ピリツ」と引き締まった空気の中に時折「ホツ」とさせる風を持っており、よく師範や、私たちの笑いを誘っていました。成山師範の難しい質問に対し、道場の中央で天井を見上げ、白い歯を少し見せ苦笑いし、答えを考える姿が思い出されます。本日も夕方午後六時半からの稽古に行けば、そんな安部隆宏先生に今でも会える気がします。

稲垣智浩

安部先生には部を立ち上げた当初から、私や部員達に本身に身近にご指導いただきました。時にはお忙しい中、学校での練習や合宿まで足を運んでいただいたこともありました。まだまだ先生には成長していく部員達を見守っていただきたく、残念でなりません。

先生から学んだ温厚で、練習生に丁寧でわかりやすい指導を忘れず、これからの部員達にも伝えていきたいと思います。

小尾貞夫

今日「安部さんにメールしなきゃ。」と思いましたが。そんな訳無いのに、私は大阪芸大の主宰時代に安部さんにメールでプリントを送ったりしていたときの感覚でいるようです。生まれ変わったらまた合気道教えて下さい。よろしくお願いします。

山下由希子

学生時分、よく昭道館の朝稽古に参加させて頂きました。稽古が終わると師範及び先生方は喫茶店へ朝食に行かれ、僕もよくごちそうになりました。甘党の安部先生はトーストに砂糖をまぶして食べておられるので、僕も真似して砂糖をまぶして食べたところ、以外や以外、これが美味しいのでびっくりしたのを覚えています。安部先生が亡くなられた今、もう安部先生と朝食に行けないと思うと悲しい限りです。朝稽古のあの朝食は僕の大切な思い出のひとつです。

橋本善秀

短い期間でしたが昭道館ではお世話になりました。昨年の西日本大会では全く相手にされず完敗でした。リベンジできないことが本当に残念です。

湊健太郎

初めて道場を訪れた時、おられたのが安部先生でした。とても当たりの柔らかい人で安心して入門する事ができました。ありがとうございました。これから頑張っていくみますので見守ってくださいね。安らかに眠りください。

さい。

橋本佳也

そちらの天気はいかがですか？こちらは曇一つない晴天です！楽しい飲み会しましょうね。またいつか

松本朱音

安部先生は周囲を笑顔にする力がありました。安部先生の技は大きくて力強く、常に背筋がピンと伸びていて、私の憧れでした。そして、これからもずっと安部先生は私にとって様々な面で目標の人です。

山本千恵

いつも温和そうな安部指導員。私は、安部先生と同じ年に大学に進学し、同期として合気道を続けてきました。名字が一緒ということもあり、勝手にライバル視したものです。うだつのあがらない自分とは対照的に、安部先生は、関西大会個人戦優勝など実に多くの好成績を残しました。ただその実力は、天性のセンスもさることながら、絶え間ない努力そして誰よりも合気道が好きだという気持ちに裏打ちされていたと感じたものです。

卒業後、安部先生が昭道館本部の指導員になられたという話を聞いた時、正直うらやましいと思いましたが、好きな合気道を仕事にすることは、本当に大変なことだと思いましたが、そんな彼を関東にいる同期一同誇りに思ったものです。トルコ旅行中に、交通事

故にあわれたという話を聞いた時は、本当にショックでした。ご冥福をお祈りいたします。

東京大学スポーツ合気道クラブ
助監督 安倍雅史

私が入部した当初から安部先生は昭道館の指導員をしておられました。いつも親切に技の指導や披露をしていただきました。先指導員の引継いで、先生の姿を道場で見なくなりましたが、今年の世界大会で久しぶりに先生の勇士を見る事が出来ると楽しみにしていた矢先の訃報に私は驚きとも残念な気持ちでいっぱいです。先生、短い間でしたがご指導下さってありがとうございました。先生のご冥福をお祈り致します。

近畿大学合気道部
主将 岩本章

僕にとって、安部先生は大きな目標であり、そしてそこに居られるとなんだか安心できる存在でした。様々な言葉が思い出されました。「大工大は人数が少ないから大変かもしれないけど頑張りや」「下段当てはもつと低く」「はい、寒稽古に皆勤された方のお名前を発表します・・・安部隆宏君！・・・そして「どうや、飲んでるか？ 今度なー、ヨーロッパ旅行行くねん。前から楽しみにしててなー・・・」

本当に大きな衝撃でした。悲しさ、悔しさ、寂しさ、様々な気持ちが入り混じっています。安部先生のご冥福を心よりお祈りいた

します。

大阪工業大学合気道部
主将 亀井新

僕が、安部先輩と出会った日や共に過ごした日々が本当に昨日の日のように思います。先輩は明るく、優しい方でした。その笑顔は今も忘れることができません。同じ大学の先輩として、先輩から教えて頂いたことをすべて自分の糧として今以上に努力、精進することが先輩への恩返しになるのではないかと思います。本心に心よりご冥福をお祈り致します。

天理大学合気道部
主将 太田有祐

私が大学から合気道を始めてから安部先生にはとてもお世話になり、昭道館に行くといつも笑顔で指導してもらいました。安部先生とは親しくしてもらい自由練習になると乱取り稽古をしてもらい、大会が近づくと演武を教えてもらうなど、今の私にとっての合気道は安部先生のおかげだと感じています。あと印象深いのはよく飲みに連れて行ってもらった事です。思い出が多すぎて書ききれませんが、今まで本当にありがとうございました。

大阪商業大学合気道部
主将 野下直正

安部先生には様々なことを学ばせて頂きました。合気道の楽しさ、厳しさだけではなく、物事に真剣に打ち込む姿勢、どんなことがあっても笑顔でいることの大切

切さなど、たくさんのことを教わりました。安部先生から教わったことを自ら実践し、後輩に伝えていきたいと思えます。本当にありがとうございました。部員一同、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

関西福祉科学大学合気道部
主将 谷英紀

乱取り競技独特な構えとたくみな戦術。合気道を始めたばかりの私達は魅せられ、憧れを抱いて稽古しました。構えをマネて試合に出た事もありました。そして何より芸大に合気道が設立される当時からお力をいただき深く感謝いたしております。出来る事なら今の芸大の成長を見続けていてほしいです。安部先生、天国でも、いつもの元氣な安部先生でいて下さい。

大阪芸術大学合気道部
主将 岡田大輔

安部先生とは飲み会を通じてお話をさせて頂いたたくなるようになりました。その際には酔った子や家までつれて帰って下さり感謝しています。また先生の突きや隅落としに感動し、トルコから帰った際には関学の方にも教えに来て頂きたいと思っていた矢先、残念でなりません。末筆になります安部先生のご冥福を関学一同心よりお祈り申し上げます。

関西学院大学合気道部
代表 丸田理恵

My Friend Abe sensei.

I heard about my friend's unfortunate death while I was in the Philippines. At first I couldn't understand what I was being told and when I understood it was like being stabbed in the heart. I knew Abe better than some people think; not just because of a lot of aikido practice together but socially too. Some of the foreigners and I used to tempt Abe to the so called Gaijin bars. If he needed a place to stay in Osaka he was always welcome at my house if he had missed his train. We discussed his aikido, his taste in fashion and his family business ; making traditional Japanese fish paste. I wasn't sure what he meant by fish paste...then one day he brought me a parcel of it to the dojo....delicious. For me Abe was literally a saint. He never once complained or said a bad word about anyone. If you tried to involve him in gossip he would just lean his head to one side and smile looking like he was thinking deeply. I console myself knowing that the good die young his work here is finished. We will all miss him though none more so than his family especially his brother, I offer them my deepest condolences. I will never forget him.

Michael Mccavish

Personally two images of Abe sensei remain with me. One of the last times I saw him was at the recent Spring Training Camp where he was excitingly telling me about his up-coming three month European trip. He was



the good thoughts of others.

Regards,
Chris Hartigan (Shodokan Sydney)

I have been informed that one of your senior students, Mr. Abe, passed away in a car accident. I am very sad about this; I knew Mr. Abe from the seminar in Malaga, Spain and met him again at the 2001 International tournament. I have been impressed by his outstanding skills, dedication, modesty and kindness.

In the name of the Swiss Shodokan Aikido Association, I would like to express my profound feelings to his family, relatives and friends. I will remember him every time I practice Aikido, taking him as one example to follow.

With regards,
Hendric Stattmann
Hendric Stattmann, Lausanne, Switzerland.

I was shocked to hear of Abe Sensei's death. He was a wonderful person and a great friend. I will miss him greatly and please offer my deepest and heartfelt condolences to his family and to everyone at the Shodokan.

With deepest regards
Orazio (Ray) Mazzone (Shodokan Aikido Sydney)

relaxed and happy even though his father had him working hard. The other image is actually a picture I've had on my web site for years. He was helping this newly promoted Shodan to drink his beer. He will be missed.

Peter Rehse

I am so sorry to hear about Abe-san and deep in sympathy with his family. I was looking forward to seeing him this summer when I came back from UK. It is no doubt that he would have been one of the youngest and best instructors of JAA and this is a great loss to Shodokan. I hope Abe-san's will and enthusiasm to Aikido is taken over by his students.

Daisuke (西川大介)

----- 海外からのメッセージ -----
Message from overseas

安部様がお亡くなりになったとお伺いし大変悲しんでおります。心よりお悔やみ申しあげます。

ジョン・カメロン

I was very sorry to hear the news regarding Abe sensei. He was a great friend to me during my stay in Osaka and helped my Aikido a lot.

All of us here are thinking of you and his family and hope that this time of sorrow is lightened somewhat by

We were very sorry to hear about Abe San's death. Please accept our deepest condolences for his family and all of you at Shodokan. We are sure he will be greatly missed. He was well known and liked by many of us here in the United States, and we speak for the entire JAA/USA in regretting his passing away.

Sincerely,
Dave & Kerry Nettles & the JAA/USA

Please pass on our condolences to the Abe family from all at Shodokan London.

At the end tonight's lesson there will be a one minute silence as we remember the loss of Takahiro Abe.

Phil(Philip Newcombe)

I am Julian and I write you on behalf of the Spanish Shodokan Aikido Association.

We have received recently the bad news about Takahiro Abe. We want to express our deepest sympathy on the terrible lost of him. He is a very important person in our brief history at the Shodokan Family because he was the first people from Shodokan Japan we met in Spain (by ask of Nariyama Sensei, of course).

Best regards,
Julian.(Julian Ramos Cozar)

It was with great sadness, that I heard about the tragic passing of Abe san. We will always remember his kindness, helpfulness and his willing smile.

Abe and his family are in our prayers.

Andrew and Kathy Bereny

Cuong and Sabrina Pham

Bhin and Nga Tran

University of South Australia Shodokan Aikido Club

He was always ready to help.

Ever friendly and accommodating.

A great Aikido player and a patient and considerate teacher.

I remember his speed and grace.

I remember his ready smile.

We will all miss his presence in the Shodokan.

AVE ATQUE VALE.

Orazio (Ray) Mazzone, Chief Instructor.

Torohin Havini, Instructor.

Chris Hartigan, Instructor

And all the students from:

Shodokan Aikido Sydney

Sydney, Australia

May I offer my deepest condolences. I was deeply saddened by the news of Abe-san's passing, though I cannot imagine the feeling that you all and the family of Abe-san must share. My memory of Abe-san is a bright

young man full of energy and spirit. He always had a ready smile and showed excellent character. His generous instruction and "gambarimasu" attitude touched many. I will always value his instruction and recall the enjoyment of practising with him. I offer my own thoughts and wishes to you all, and to the family of Abe-san.

With my sympathy

David Findlay

I am writing on behalf of the Yudansha of Shodokan Aikido Australia to express our deep regrets on hearing of the sad news of the passing of Abe San. Many of us have met and trained with him at either the Honbu Dojo or at Aikido Festivals and had great respect for his abilities. It adds to the sadness to know that such a talented player will not be able to continue with his Aikido career, and will not have the opportunity to pass on his knowledge to the next generation of players. We all feel that we have lost friend and a brother in the cause of furthering Shodokan Aikido. Please pass on our condolences to his father and family, and all our friends in Japan; our thoughts are with them.

Best wishes

Peter Cleydon (Kaicho)

Shodokan Aikido Australia

To Abe-san's parents,



I am very sorry to hear about your loss.

I would like to remember to you his calm, polite manner, his willingness to learn and his ability to instruct.

He will be missed.

David Woolcock

(Victoria University Shodokan Aikido Australia)

スペイン昭道館合気道協会 (AEASHO) は隆宏先生がお亡くなりになったというお知らせをいただき、ただ驚いております。あんなに元気だったのに、あまり突然のことで、まだ信じられない気持ちでございます。ご家族の皆様もどんなにお悲しみのことかとお察しし、申し上げる言葉もございません。

私たちは特にスペインへ旅行にいらっしゃったときの思い出は、忘れることができません。

つつしんでご冥福をお祈りいたします。

Rafael Moreno Ruiz (AEASHO President)

Those of us in the U.S. who had the privilege of meeting and playing with Abe Sensei send our most sincere condolences to his family, friends, and fellow players in Japan - it is a great loss, and he will surely be missed for a long time. He had the warrior heart, talent, and spirit and was truly a fine individual as well as a fine aikidoka and competitor.

(From The JAA(USA) AIKIDO TIMES Vol.15 No.3)

We have recently learned of the untimely death of Mr. Abe and wish to express my sympathy and those of the members of the British Aikido Association for your loss.

We had great respect for Mr. Abe, both for his prowess in Aikido - his superb performance in Osaka in October 2001 is still in our memories - and for his martial art spirit; he was a role model for us all.

My thoughts and those of the members of the BAA are with you at this sad time.

Yours sincerely

Bob Jones (British Aikido Association)

各合気道競技大会での実力発揮、昭道館本部道場での専任指導員としてのご活躍、そしてずっと行きたかったとおっしゃっていた中近東/欧州方面への旅の実現。きっと充実した日々を過ごされたことと思います。そして今は時間に拘束されない放浪の旅へ。たくさんの方から寄せられたメッセージが安部隆宏指導員の旅先に届きますように。

萬谷久美子

富木謙治顕彰碑建立基金

した。



合気道競技創始者・昭道館初代館長の富木謙治師範の顕彰碑を建立したいと、富木師範誕生地の、角館合気道協会から募金の要請がありました。

「私達が意欲を持って親しめる合気道の形式を作り上げて下さった功績を、顕彰碑という形にして後世の人々に伝え残していくこと」と、そしてまた「この建立を通じ、現在そしてこれから先も、合気道競技が多くの人々に理解され、親しまれていくことを望むと共に、その活動を続けていく思いを形に残したい」ということが今回の顕彰碑建立趣旨です。

この趣旨に賛同し、賛助金を頂きました昭道館関係者の皆様のご芳名をご報告させていただきます。

(※敬称略・順不同)

内山 雅晴 (大阪)
 内山 シンマエ (大阪)
 内山 順吉 (大阪)
 成山 哲郎 (大阪)
 荒尾 敏矩 (大阪)
 中川 寛一 (大阪)
 馬渡 和夫 (奈良)
 寺西 晴高 (大阪)
 山形 雅章 (滋賀)
 安居 隆 (奈良)
 中川 世一 (大阪)
 中村 芳勝 (大阪)
 赤木 瑞枝 (大阪)
 阿部 善一郎 (新潟)
 阿部 隆宏 (兵庫)
 阿部 祐三 (兵庫)
 石橋 真教 (奈良)
 石橋 一徳 (大阪)
 稲垣 智浩 (大阪)
 井上 哲朗 (奈良)
 井上 正人 (大阪)
 岩崎 有香 (大阪)
 植田 武 (奈良)
 梅谷 武香 (大阪)
 大西 美緒 (奈良)
 岡田 哲雄 (三重)
 金森 由志子 (大阪)

河内谷 秀雄 (大阪)
 河村 末来 (大阪)
 川本 卓史 (大阪)
 木下 大樹 (大阪)
 桑高 正行 (静岡)
 芥子 龍之介 (大阪)
 上月 修 (大阪)
 河野 勝郎 (大阪)
 幸野谷 昇 (大阪)
 齊藤 志穂子 (大阪)
 酒井 進之介 (大阪)
 佐倉 英夫 (大阪)
 櫻木 謙次 (大阪)
 佐子 肇 (大阪)
 島村 昌秀 (大阪)
 神農 智秀 (大阪)

末永 治 (大阪)
 須田 喜太郎 (大阪)
 杉多 公一 (大阪)
 清家 清平 (愛媛)
 惣福 秀明 (大阪)
 高江 美智子 (大阪)
 高垣 良一 (大阪)
 高橋 宏 (大阪)
 武田 博仁 (大阪)
 巽 泰滋 (大阪)
 田中 多予子 (大阪)
 千田 晃彰 (熊本)
 寺尾 義明 (大阪)
 寺西 陽子 (大阪)

西村 英世 (京都)
 野口 智行 (福島)
 登尾 友紀 (大阪)
 羽田野 比登美 (兵庫)
 濱口 輝充 (大阪)
 原 泰志 (岡山)
 東原 善一 (大阪)
 東原 美奈子 (大阪)
 藤本 和義 (大阪)
 藤原 啓史 (大阪)
 堀 春男 (大阪)
 眞下 正 (大阪)
 増田 衣美 (大阪)
 増田 慎 (兵庫)
 増田 綾子 (兵庫)
 松下 悦子 (大阪)
 松本 朱音 (大阪)
 松本 勝明 (大阪)
 松本 久美子 (大阪)
 三木 浩 (大阪)
 溝田 守良 (大阪)
 湊 健太郎 (奈良)
 南 恭子 (大阪)
 村上 健二 (大阪)
 森田 満 (大阪)
 森本 良絵 (大阪)
 山形 忍 (滋賀)
 山岸 広幸 (大阪)
 山口 広治 (大阪)
 山崎 保雄 (大阪)
 山本 さとみ (大阪)
 山本 芳仁 (大阪)
 四辻 伸吾 (大阪)
 吉田 淳香 (大阪)
 岩本 章 (大阪)
 岩本 毅 (大阪)
 矢野 勇一郎 (大阪)
 中川 毅 (大阪)
 日野 拓哉 (大阪)
 米山 茂樹 (奈良)
 池田 和正 (大阪)
 江副 亜希子 (大阪)

川崎 孝明 (大阪)
 高津 啓暢 (三重)
 越田 勝 (大阪)
 島崎 加奈子 (大阪)
 竹口 貴子 (大阪)
 平松 孝 (兵庫)
 福家 隆彰 (大阪)
 堀本 大介 (兵庫)
 堀本 祥子 (兵庫)
 松岡 隆徳 (大阪)
 山田 啓允 (大阪)
 山本 将一 (大阪)
 荒川 雄磨 (大阪)
 大串 周平 (大阪)
 澤田 幸輝 (大阪)
 大丸 直也 (奈良)
 辻 直利 (大阪)
 橋本 聡 (兵庫)
 橋本 政継 (大阪)
 櫛本 早衣子 (大阪)
 中森 容理子 (奈良)
 中山 友香 (京都)
 開 友美 (大阪)
 湯浅 絵美 (大阪)
 米岡 利展 (大阪)
 亀井 新哉 (大阪)
 江口 直哉 (大阪)
 北野 全紀 (大阪)
 佐野 孝典 (兵庫)
 高尾 英伸 (大阪)

古海 惇一 (大阪)
 森 浩二 (大阪)
 太田 有祐 (奈良)
 佐藤 大生 (奈良)
 神永 直哉 (奈良)
 稲次 毅雄 (奈良)
 大東 登志子 (奈良)
 小笠原 章 (奈良)
 小山 隆明 (奈良)
 志村 和恵 (奈良)
 花田 貴道 (奈良)
 増田 喜弘 (三重)
 村田 恵利 (奈良)
 森 英士 (奈良)
 森岡 亜希子 (奈良)
 山田 哲哉 (奈良)
 岩田 眞雄 (奈良)
 香取 淳平 (奈良)
 野下 直正 (大阪)
 井筒 正博 (兵庫)
 山崎 文加 (大阪)
 黒原 麻美 (大阪)
 藤田 晋也 (大阪)
 中 真由 (大阪)
 富井 麻由 (奈良)
 津野 井久絵 (大阪)
 鈴木 依里 (兵庫)
 声元 洋美 (兵庫)
 神谷 尚希 (大阪)
 森下 敬太 (大阪)
 山路 美加 (大阪)
 中井 邦子 (大阪)
 金子 祐美 (大阪)
 浅野 志実 (大阪)
 國本 奈津代 (奈良)
 谷 英紀 (奈良)
 島田 碧 (大阪)
 中村 安里 (大阪)
 中尾 恵弥子 (大阪)
 定塚 純子 (大阪)
 河西 誠 (大阪)
 三前 良平 (大阪)
 井畑 怜生 (大阪)
 小尾 貞夫 (大阪)
 吉原 大貴 (三重)

早乙女 文 (大阪)
 木下 真理子 (大阪)
 田村 俊郎 (兵庫)
 石本 裕史 (大阪)
 松本 裕史 (大阪)
 川人 努 (大阪)
 岡田 大輔 (大阪)
 山下 育子 (奈良)
 山下 佑資 (兵庫)
 野原 真一 (大阪)
 中渡瀬 真一 (大阪)
 中 真由 (大阪)
 中井 麻由 (奈良)
 富井 井久絵 (大阪)
 津野 依里 (兵庫)
 鈴木 洋美 (兵庫)
 声元 尚希 (大阪)
 神谷 敬太 (大阪)
 山路 美加 (大阪)
 中井 邦子 (大阪)
 金子 祐美 (大阪)
 浅野 志実 (大阪)
 國本 奈津代 (奈良)
 谷 英紀 (奈良)
 島田 碧 (大阪)
 中村 安里 (大阪)
 中尾 恵弥子 (大阪)
 定塚 純子 (大阪)
 河西 誠 (大阪)
 三前 良平 (大阪)
 井畑 怜生 (大阪)
 小尾 貞夫 (大阪)
 吉原 大貴 (三重)

以上、合計二百十一名

皆様のご好意に対しまして厚く御礼申し上げます。



顕彰碑碑文をご紹介させていただきます。

合気道競技創始者 富木謙治 ここに眠る

富木謙治は明治33年3月15日角館町横町の富木庄助、タツの長男として誕生。角館小学校、秋田県立横手中学校を経て早稲田大学政治経済学部に入學、卒業後は県立角館中学校で教鞭を執った。少年時代より柔道に励み、早大時代、東京学生柔道連合会の役員として嘉納治五郎師範の警咳に接し、柔道に於ける当身技・関節技の競技化の必要性を示唆された。一方この頃合気柔術の植芝盛平翁と邂逅して入門、昭和15年紀元節に最初の八段を許された。以後富木は、柔道に於ける離隔態勢の技の研究即ち合気道

の近代化及び武道の総合理論研究に邁進し、満州国建国大学に於いて教授した。戦後は早稲田大学に奉職し体育としての武道理論を研究、特に当身技と関節技の柔道第二乱取り法の研究に取組み、昭和36年には柔道、剣道に比肩する合気道競技の理論と方法を確立した。伯父平福百穂の影響を受けて書画を嗜み、時に絵筆を執って愛弟子に与えた。教え子への慈愛限りなく、教育・研究への情熱、見識と気品、威重なる人格は民族を超えて人々の尊信を集めた。

主な経歴 柔道八段 講道館指導員 合気道八段 満州国建国大学教授 早稲田大学教授
日本武道学会副会長 昭道館初代館長 日本合気道協会創設者
主要著書 柔道に於ける離隔態勢の技の体系的研究 柔道と合気道 合気道入門
講道館護身術 新合気道テキスト 体育と武道 武道論 ほか論文多数

昭和54年12月25日没 法名 謙徳院肇道圓心居士



上記写真中、左手前に顕彰碑が建立されます。

Here lies Master Kenji Tomiki(1900-1979), Founder of Competitive Aikido

He was an 8th degree black belt in Aikido and the founder of the Japan Aikido Association, as well as an 8th degree black belt in Judo and senior instructor at the Kodokan, the worldwide headquarters of Judo. He was a Professor at both Kenkoku University in Manchukuo as well as at Waseda University in Tokyo.

Kenji Tomiki, the oldest son of Shosuke and Tatsu Tomiki, was born at Yokomachi, Kakunodate, Akita Prefecture. He studied at Kakunodate Elementary School, Yokote Junior High School, and then majored in political science at Waseda University in Tokyo. After graduating, he taught at Kakunodate Junior High School.

He started studying Judo in his childhood days. In his university days, he was deeply influenced by Judo founder Jigoro Kano and nursed the idea of modernizing ancient Jujutsu. In those days, he met Morihei Ueshiba, who was developing Aikido from ancient jujutsu. Tomiki practiced under Ueshiba, and was the first of Ueshiba's students to be awarded an 8th degree black belt in Aikido, on February 11, 1940.

Starting in his school days, Tomiki also diligently studied other Japanese martial arts and Budo philosophies. In the post-war period, while a Professor at Waseda University, his research focused on "Budo as Physical Education". He worked especially hard to create an additional randori sparring method for Judo that would be a freestyle practice done from an arm's length distance. In about 1961, Tomiki at last established the theory and method of competitive Aikido, thereby setting Competitive Aikido on a strong foundation and making it comparable to Judo and Kendo.

Under the influence of his uncle, the eminent artist Hyakusui Hirafuku, Tomiki came to enjoy painting and calligraphy. He often gave his works to his disciples as gifts, and in all aspects of his life his charity to students was without limit. People from around the world hold him in honor owing to his passion for study and education, and because of his exceptional intelligence, grace, and dignity.

ご支援・ご協力
誠にありがとうございました。



富木謙治顕彰碑建立記念式典(案内)

富木謙治顕彰碑建立記念式典が富木謙治師範のご郷里、秋田県仙北郡角館町にて執り行われます。日程及び内容は次のとおりです。

■除幕式

日時：二〇〇三年九月十三日(土)
午後二時三〇分～三時一〇分(受付：午後二時)
場所：秋田県仙北郡角館町 天寧寺境内

■記念演武会

日時：二〇〇三年九月十三日(土)
午後四時三〇分～五時三〇分
場所：角館町武道館
内容：師範演武(日本合気道協会 成山哲郎師範)

■祝賀会

日時：二〇〇三年九月十三日(土)
場所：大安閣(武道館より徒歩五分)
費用：六千円(会費制)

■記念行事

日時：二〇〇三年九月十四日(日)
午前一〇時～十二時
場所：角館武道館
内容：日本合気道協会指導部主催 東北講習会 (講師：日本合気道協会 成山哲郎師範)
基本原理から応用技へ発展する合気道競技の稽古体系に沿った講習を行います。

乱取基本技十七本や、返し技十本を中心とした講習を予定しております。
費用：社会人 二、〇〇〇円 学生 一、〇〇〇円

昭道館本部で稽古されている方で出席ご希望の方は二〇〇三年八月十八日までに昭道館本部(酒井指導員、藤本指導員)に連絡をお願い申し上げます。

電話 (FAX) : 06-6622-2046
E-MAIL : shodokan@nifty.com

平成十五年

昭道館春季研修合宿

二〇〇三年三月八日～九日、和歌山県で昭道館春季研修合宿が行われました。

いつも真面目な記事を書いていると、「堅すぎる」という意見が寄せられました。ということで、今回は合宿の中でも稽古に並ぶ大切なイベント?! 宿泊先の国民宿舎湯浅城でのお話を。

一日目夜の夕食・・・「夕食」そんなおとなしいものではありませんね、「宴会」です。毎年、関東方面他から遠方はるばる参加された方、そして昭道館本部で稽古していても稽古の曜日や時間帯が違って会う機会が少ない



方と交流する場でもあります。話は弾み、そのまま2次会、3次会へ。3次会ともなると脱落者多数、参加するのは伝説をつくるような兵(つわもの)が多い。その第一人者はT大学のY監督です。この監督は、いつも、しらけている人はいないだろうかとても気を配っておられるんですね。で、数年前、ロビーで〇次会をしていた時の話。そこに「しらふ」の白熊とオオカミ(剥製)が居ました。Y監督は親切にもビールを飲ませてあげたそうです。その翌年、湯浅城を訪れると、酔ってどこかに行ったきり帰ってこなかったのか、白熊とオオカミの姿を見ることはできませんでした。ちなみに、今年は、白熊がいた場所にマッサージュ機がおかれていました。Y監督、稽古で疲れた体をお酒で血行をよくした後、こちらのマッサージュ機でゆったり筋肉をほぐされてはいかがでしょうか？



ほぐすといえば・・・
N師範の筋肉をほぐしていたK氏。あれだけのすばらしい技を見せてくださるN師範の筋肉をほぐすというのはとても緊張するものだと思います。このK氏、遠方からの移動と稽古の疲れもあったのか、緊張のあまり師範のお尻の上で気を失ってしまったそうです。(単に眠りに落ちてしまったという表現の方が適切ですね) 寝心地はどうだったのでしょうか？
昭道館春季研修合宿の楽しさが伝わりましたでしょうか？今年参加されていない方は来年ぜひ！
参加された方は、来年もぜひ！いっしょに伝説をつくりたい。いや、技を磨きに行きましょう！
もちろん、素直に自分の部屋に戻り、翌日の稽古に備えようと眠りにつく人もいます(当然ですよね(笑))。さぞかしそこは平和だろう・・・と思いきや睡眠時無呼吸症候群の疑いのある方からご申告。「今年もいびきがうるさかったらしく、同室の人に心地よくない音を提供了した模様。」

Randori : How to enjoy it.

By Alan Higgs

Randori is not shiai. It is a chance to practice with a partner in situations when the partner resists (sensibly and safely of course !!) or does something unexpected, forcing the players to think of something quickly to suit the situation. It is both unsafe and unethical to think of winning when practicing randori.

Though it is true that randori is training for shiai, it is equally true that it is budo training for goshin jitsu (self defense). In fact if randori is practiced more with "budo principles " in mind rather than thinking about getting points, I think we would see a more effective style of shiai suitable both for sport and for goshin jitsu. Lets look at some budo points to consider when you do randori.

Kunde / Hanarete

Kunde describes the Judo circumstance. Close contact with

your opponent is when Judo waza are effective.

Hanarete describes the Aikido circumstance. Keeping a safe distance (maai) and applying techniques as the opponent reaches out to attack is when aikido waza is truly effective. Maai is most important for aikido techniques.

Ma ai

Dancing around the dojo holding your opponents arm and facing him face to face is utterly ridiculous.

Considering budo principles a judo player can feel any leg or hand attack coming and can immediately unbalance his opponent because his waza and his position were designed for the close situation (kunde). On the other hand, the aikido player can easily be kicked, hit or have his legs swept (ashi barai) because he is too close and he doesn't have full control over his opponents balance when standing directly in front of his opponent. Practicing randori in this way brings no benefit if you wish to prepare for a real goshin (self defense) situation.

Considering the shiai then, which is more or less real fighting but with a referee for safety. What good is achieved by the person who dances with his opponent close enough to be kicked or hit, but wins the shiai because somehow he manages to perform a good technique and gets one or two ippon ? Because of his unsafe close position this player would have been defeated by his opponent in reality so is it correct to call him a winner ?

So when you practice randori, consider the above advice and also practice different skills rather than fight just to beat your training partner. Practice your timing, tsukuri, ma ai, metsuke, renzoku waza (combinations) with your partner and help him do the same during your randori.. Above all, be honest about whether your randori practice is realistic or not from the point of Budo principle. Then you may win your next shiai well.

乱取りを楽しもう！

ヒッグス アラン

あなたは「乱取り＝試合」と考えていませんか？ 乱取り稽古もあれば、乱取り試合もあるので、乱取り＝試合というわけではありません。

約束された技をする形稽古とは違って、乱取りでは、思いがけない動きをしたり抵抗したりする相手に対し、すばやく判断し、すばやくその相手の動きに応じた技をかける稽古ができます。でも、「勝ち」に固執しすぎると危険ですし、非論理的になつてしまいます。

乱取りは、試合のために稽古することもあります。護身術の稽古手段でもありません。どう得点するかを考えるより、武道原理を意識して稽古するなら、スポーツとしても護身術としても効果的な稽古形式であると思います。

それでは、乱取りをするときにどのようなポイントに気をつければよいのか考えてみましょう。

組み付くか離れるか

お互いが道着に組み付いた状態からであれば、柔道の技が効果的でしょう。離れた状態から相手が攻撃してくる時、合気道の技が効果的です。間合いは合気道でも大切です。

間合い

相手の腕を掴み、顔を向き合わせた状態で、まるでダンスをしているかのように道場の周りをくるくるまわっているのはあまりよろしくありません。

柔道なら、組み合った状態から相手がどうでくるかを感じ取り、逆に相手をどう崩そうかと考えます。でも、合気道の場合には違います。真正面に向き合った状態で組み合うと、蹴られたり、足を払われたり、突かれたりしやすいですからね。ですのでも、いくらダンスのような乱取りをしても本場の護身術は身につかないでしょう。

試合は、安全の為に審判員がついていますが、一種の本場の「戦い」です。蹴ったり殴ったりできるほど近距離で「ダンス」している選手が、どうにかして技をかけ、一本を取ることができるとはなぜでしょうか？ 危険を冒して近づいて技をかけて、それで本場の勝者といえるのでしょうか？（一種の捨て身ですね。）

乱取りの稽古をする時、単に練習相手を打ち負かせるような稽古をするのではなく、ぜひとも前述の点についても考えていただきたいと思えます。タイミン（勝機）、つくり、間合い、目付け、連続技に気をつけて稽古し、そしてまた練習相手がそれらに留意した稽古ができるように、いい稽古パートナーになれるように配慮しましょう。

そして、あなたの乱取り稽古に現実味がある無しに関わらず、武道原理に誠実に稽古してください。そうすれば、勝利に一步近づくことができるでしょう。



昭道館本部有段者研鑽会

二〇〇三年五月二十四日午後一時より、昭道館本部道場にて有段者研鑽会が開催され、約七十名の有段者が参加しました。

さて、突然ですが皆さんは「合気道とは？」と聞かれた時、どう回答しますか？

成山師範は、各大学の合気道部主将に「新入生勧誘の時に、『合気道とはどんな武道ですか？』と聞かれたときにどう答えるか？」と質問されました。

近畿大、天理大、大商大、関西福科大の主将がそれぞれ答えていましたが、他の武道との関連性の部分から説明したり、理合の説明をしたり、「とりあえず見に来て」と、勧誘時に本当に使ったようなセリフがでたりと、それぞれの大学のカラーが見られたような気がします。

そして、富木謙治先生が書かれた文章を紹介されました。その文章は、昭道館本部玄關前に置かれているパンフレットにも一部記載されています。キーワードは生涯〇〇です。

さて、今回の技の稽古は、正面打ちに對する六方向の体捌き・入り身からスタートしました。

入り身は、受が正面打ちをしてきて、取が体捌きしたために、体勢を整えなおしてもう一度、正面打ちをしようとして下がったときに、入っていくものです。

初心者に教えるときには、よく「一度体捌き、二度入り身」と説明してしまいます。手順を教えるときには、わかりや



すいと思いますが、次のステップでは体捌きと入り身は連続したもの、つまり、一で体捌きと入り身を行うという意識を持つようにしましょう。
続いて基本の裏技十本。これは、六方向の体捌きを意識し、相手の動きに對して体をどう捌くのかを意識して稽古しました。
以降も同じく、どう体を捌くかに重点を置いて各応用技を稽古しました。
体捌き・入り身は形稽古においても乱取稽古においてもとても大切な基本部分です。技をとり急ぐと技を掛ける前に攻撃されてしまいがちですし、逃げすぎるといつまでも追いかけてられず、タイムラグよく入り身ができるようにしっかりと稽古しましょう。

大会結果

第23回 関西学生合気道競技大会

2003年6月8日(日) 於 住吉武道場

- 【演武競技】
 - 対徒手(男子)
 - 第一位 大阪商業大
 - 第二位 大阪教育大
 - 第三位 奈良教育大
 - 対徒手(女子)
 - 第一位 関西学院大
 - 第二位 大阪商業大
 - 第三位 大阪教育大
 - 対武器(男子)
 - 第一位 関西学院大
 - 第二位 国士館大
 - 第三位 近畿大
 - 対武器(女子)
 - 第一位 大阪商業大
 - 第二位 関西学院大
 - 第三位 早稲田大
 - 個人戦(男子)
 - 第一位 増田(天理大)
 - 第二位 新澤(国士館大)
 - 第三位 朝日(国士館大)
 - 個人戦(女子)
 - 第一位 小笠原(天理大)
 - 第二位 山崎(大商大)
 - 第三位 丸田(関西学院大)
- 【短刀乱取競技】
 - 団体戦
 - 第一位 近畿大
 - 第二位 早稲田大
 - 第三位 関西学院大
 - 男子無段の部
 - 第一位 辻直利(近畿大)
 - 第二位 中西哲也(天理昭道館)
 - 第三位 広田硬治(天理昭道館)
 - 第三位 大浦毅之(大商大)
 - 女子の部
 - 第一位 大東登志子(天理大)
 - 第二位 金子美鈴(大和会)
 - 第三位 小笠原章(天理大)
 - 第三位 峯美幸(大商大)

天理市合気道大会

2003年7月6日(日) 於 天理北中学校柔剣道場

- 【演武競技】
 - 一般有段の部
 - 第一位 山崎文加、野下直正(大商大)
 - 第二位 東太樹、廻淳之介(大和会)
 - 第三位 真武琴絵、菅原悠(大和会)
 - 一般無段の部
 - 第一位 浜田久長、中西哲也(天理昭道館)
 - 第二位 池永純一、広田硬治(天理昭道館)
 - 第三位 松尾由加、小阪浩之(天理大)
 - 中学生の部
 - 第一位 藤北誠也、粕谷幸浩
 - 第二位 久保有加里、古森陽子
 - 小学生の部
 - 第一位 森川未有紀、安居愛輝
 - 第二位 大嶽映乃、安居愛輝
 - 第三位 池永亮、安居健道
- 【短刀乱取競技】
 - 男子有段の部
 - 第一位 東太樹(大和会)
 - 第二位 廻淳之介(大和会)
 - 第三位 菅原悠(大和会)
 - 第三位 増田喜弘(天理大)
 - 男子無段の部
 - 第一位 辻直利(近畿大)
 - 第二位 中西哲也(天理昭道館)
 - 第三位 広田硬治(天理昭道館)
 - 第三位 大浦毅之(大商大)
 - 女子の部
 - 第一位 大東登志子(天理大)
 - 第二位 金子美鈴(大和会)
 - 第三位 小笠原章(天理大)
 - 第三位 峯美幸(大商大)



※前号まで、健康に関する豆知識を取り上げる「けっこう健康」コーナーがありました、「健康」以外のテーマも取り入れることになり、題名を変更いたしました。

今回は「生涯体育」という言葉について取り上げます。今、日本社会では機械化が進み、運動をする機会が少ない人が増えていきます。しかし、健康を保つためには運動をすることはとても大切なこと。しかも運動は、食事と同じように、一度にたくさんやっても、しばらく中断するということではあまり効果はありません。生活の中に取り込むことが大切なのです。それは何歳になってもやらなくてはならないものでもありません。一生継続しようというのが生涯体育、簡単にいうと

そんなところでしようか。

同じような言葉に「生涯教育」「生涯学習」というのもあります。小学校・中学校・高校・大学だけが学習する場所ではありません。人間は一生、成長をつづけるもの・・・とどこかの偉い人がその著書のなかで述べていました。合気道の稽古を通して、そして、道場であらう人たちを通して、刺激を受けて成長しつづけることができれば素敵ですね。

From the editors

If you have any requests of people you'd like to know more about please let us know. We will also try to answer any questions you may have concerning Aikido waza by going directly to the source, the teachers, in this newsletter.

We eagerly await your messages.

E-mail: shodoho@infoseek.jp

第五回国際合気道競技大会 昭道館選手団結団式

今年八月にイギリスのリーズにて開催される第五回合気道競技大会に参加する昭道館選手団の結団式が、七月二十日、昭道館本部道場にて執り行われました。内山雅晴理事長他、関西合気道競技連盟の常任幹事の先生方にご参列くださいました。

昭道館選手団団長(ご挨拶)

成山哲郎

本日はご多忙の中、内山理事長はじめこのように多くの方にお

集まりいただき、まことに有難うございます。今回の英国での大会は、当初諸般の事情により参加が危ぶまれておりましたが、何とかこうして昭道館として選手団を結成する事ができました。

思えば一昨年十月に舞洲で行われました第四回の国際大会には英国から選手・スタッフを含め百名近くの参加を頂きました。こうした道友諸兄の期待に報いるという意味からも今回の大会参加は大きな意味を持つていてると思っております。大会参加に際し、皆様のご協力に篤く御礼申し上げます。

また、この大会は先日不慮の事故により亡くなった昭道館指導員である安部隆宏君がとても楽しみにしていた大会でもありません。日本を発つ前に、「みなさんイギリスで会いましょう！」と大きな声で叫んでいた事が昨日

のこのように思い起こされます。今、こうして安部君の遺影と共に英国へ行くことに、とても感慨深いものを覚えます。安部君も天国より見守ってくれていることでしょう。

昭道館チームが大会での結果だけでなく、参加態度その他に於いても他チームの範となるよう行動する事を誓いまして、私の言葉と代えさせていただきます。

【J A A 昭道館選手団】

成山哲郎師範・佐藤竜一・マイケル・マカビシユ・大森清恵・酒井進之介・藤本和義・成山哲也・東太樹・河村未来・稲垣智浩・萬谷久美子・香川太一・アラン・スミス・高江美智子・植田有香・キロン・フェルトン・ジャスティン・ギヤラガー・田中多予子・太田有祐・小笠原章・野下直正・山崎文

編集後記

新体制になってから昭道館春季合宿と関西合気道競技大会にあわせて発行させていただくことが多いのですが、今回は次の関西大会を待たずに発行いたしました。

あまりにも早すぎる安部隆宏指導員の死。国内外から寄せられた多くのメッセージを読んでいると、つくづく生前のよいお人柄が感じられます。英文でお寄せいただいたメッセージですが、思いのつまった文章ですので、無理に翻訳するよりはそのままの方が思いが伝わるのではないかと思います。こと、翻訳は記載いたしませんでし

た。

これからの皆様の温かさに応えるべく、いい内容にして行きたいと思っておりますので、ご意見・ご感想をぜひお寄せください。お待ちしております。

E-mail: shodoho@infoseek.jp
または、直接、昭道館係まで。

- 中村 芳勝(責任者)
- 山形 忍(編集長)
- ヒッグス アラン
- グレブス デイビット
- 伊達 由美子
- 萬谷 久美子

翻訳ミスのお詫び

昭道報第9号6ページ目、「選手・審判員の為の審判最新情報—ルール解説」で翻訳ミスがございました(英文に誤りはございません)。

「体捌き指導」についての解説ですが、次の通り、修正させていただきます。申し訳ございませんでした。

<体捌き指導>

短刀が、三秒以上、徒手側の身体の一部に触れていれば「体捌き指導」となることに関してですが、これは徒手側が短刀側の腕を引っ張ったことによって短刀が徒手側の身体に触れた場合にも適用されます。